

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月11日

上場会社名 株式会社 フェヴリナ

上場取引所 東

コード番号 3726 URL <http://www.favorina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 英樹

問合せ先責任者 (役職名) AFD S.Manager

(氏名) 堀川 大輔

TEL 092-720-5420

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	690	—	54	—	54	—	50	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	107.92	107.91
21年3月期第1四半期	—	—

(注)平成21年3月期第1四半期は、連結財務諸表を作成しているため、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,547	1,300	82.3	2,710.53
21年3月期	1,495	1,246	81.8	2,602.60

(参考)自己資本 22年3月期第1四半期 1,273百万円 21年3月期 1,222百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	1,440	213.0	129	192.8	129	185.1	128	△78.9	272.46
通期	2,940	51.8	257	83.5	258	80.3	255	△65.6	542.80

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	469,866株	21年3月期	469,866株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	83株	21年3月期	83株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	469,783株	21年3月期第1四半期	469,783株

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨今の世界的な金融危機に端を発した金融不安が国内経済にも深刻な影響を与えており、企業業績や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷が顕著となり、景気後退の傾向が引き続き継続しておりました。その一方で、通信販売業態での市場はインターネット販売を中心に拡大し続けているものの、その市場における競争は異業種からの参入などが激化し、従来にも増して厳しい状況にありました。

このような環境下におきまして、当社は、景況に左右されず安定した収益基盤の構築に取り組んでまいりました。その施策の一つとして、今まで以上に顧客視点に立った対応サービスを実現するため、5月より組織体制を変更いたしました。これにより従来と比較して、顧客のご要望・ニーズに対して、より迅速かつきめ細やかに対応することが可能となりました。

次に新規顧客の獲得効率につきましては、インターネットや各種メディアを活用したプロモーション活動を精力的に行ってまいりましたが、現況の消費者購買マインドの冷え込み等もあり計画値を下回りました。

しかし、既存顧客への対応につきましては、データベースマーケティングを駆使し、スキンケアシリーズの販促強化を図った結果、一定の水準を維持することができました。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高690,598千円、営業利益54,328千円、経常利益54,531千円、四半期純利益50,703千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は1,547,685千円（前事業年度末1,495,425千円）、その内訳は流動資産1,503,493千円、固定資産44,191千円となり、前事業年度末に比べ52,259千円増加いたしました。これは主に営業活動により、現金及び預金が増加したものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は246,844千円（前事業年度末248,494千円）となり、前事業年度末に比べ1,649千円減少いたしました。これは主に買掛金の減少等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は1,300,840千円（前事業年度末1,246,931千円）となり、53,909千円増加いたしました。これは主に四半期純利益として50,703千円を計上したことによりです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ83,537千円増加し、1,022,325千円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、87,658千円となりました。これは主として税引前四半期純利益55,240千円の計上、売上債権の減少額47,187千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は3,890千円となりました。これは有形固定資産の取得による支出3,376千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は230千円となりました。これはリース債務の返済による支出230千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期の業績予想につきましては、計画通り進捗しており、平成21年5月14日に公表しました「平成21年3月期 決算短信（非連結）」における通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022,325	938,788
受取手形及び売掛金	122,426	169,613
商品及び製品	224,024	208,743
その他	137,616	140,323
貸倒引当金	△2,899	△3,809
流動資産合計	1,503,493	1,453,658
固定資産		
有形固定資産	11,518	9,516
無形固定資産	6	8
投資その他の資産	32,667	32,242
固定資産合計	44,191	41,766
資産合計	1,547,685	1,495,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,415	57,862
未払法人税等	1,836	5,178
賞与引当金	—	5,255
返品調整引当金	4,251	5,890
その他	195,167	170,871
流動負債合計	243,671	245,057
固定負債		
その他	3,173	3,436
固定負債合計	3,173	3,436
負債合計	246,844	248,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
利益剰余金	391,176	340,473
自己株式	△601	△601
株主資本合計	1,273,364	1,222,660
新株予約権	27,475	24,270
純資産合計	1,300,840	1,246,931
負債純資産合計	1,547,685	1,495,425

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	690,598
売上原価	129,864
売上総利益	560,734
返品調整引当金戻入額	5,890
返品調整引当金繰入額	4,251
差引売上総利益	562,373
販売費及び一般管理費	508,044
営業利益	54,328
営業外収益	
受取利息	0
受取補償金	207
その他	68
営業外収益合計	275
営業外費用	
支払利息	73
営業外費用合計	73
経常利益	54,531
特別利益	
貸倒引当金戻入額	709
特別利益合計	709
税引前四半期純利益	55,240
法人税、住民税及び事業税	623
法人税等調整額	3,914
法人税等合計	4,537
四半期純利益	50,703

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	55,240
減価償却費	1,376
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△909
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,638
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,255
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	73
売上債権の増減額 (△は増加)	47,187
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,462
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,446
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	22,077
その他	3,238
小計	89,510
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△74
法人税等の支払額	△1,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,376
貸付けによる支出	△413
貸付金の回収による収入	150
差入保証金の差入による支出	△250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,537
現金及び現金同等物の期首残高	938,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,022,325

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

当社は平成20年8月1日に連結子会社である株式会社フェヴリナを吸収合併いたしました。よって、当社は子会社がありませんので、当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は四半期連結財務諸表を作成しておりません。

なお、前第1四半期に係る連結財務諸表は以下のとおりであります。

(1) 四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
	金額 (千円)
売上高	561,703
売上原価	117,217
売上総利益	444,486
返品調整引当金戻入額	3,519
返品調整引当金繰入額	3,360
差引売上総利益	444,644
販売費及び一般管理費	430,371
営業利益	14,273
営業外収益	
受取利息	0
受取補償金	164
雑収入	12
営業外収益合計	177
経常利益	14,451
特別利益	
貸倒引当金戻入額	225
償却債権取立益	150
特別利益合計	375
特別損失	
役員退職慰労金	5,000
特別損失合計	5,000
税金等調整前四半期純利益	9,826
法人税、住民税及び事業税	897
法人税等調整額	△14,389
法人税等合計	△13,491
四半期純利益	23,317

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	9,826
減価償却費	1,937
のれん償却額	1,094
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△582
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,450
売上債権の増減額 (△は増加)	12,142
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16,489
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,625
その他流動資産の増減額 (△は増加)	3,240
その他流動負債の増減額 (△は減少)	21,348
その他	3,726
小計	82,240
法人税等の支払額	△3,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	78,915
現金及び現金同等物の期首残高	716,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	794,932